

各 位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・デイ
 (JASDAQ・コード3174)
 代表者名 代表取締役社長 田 泰夫
 問合せ先 取締役経営企画室長 追川正義
 電話番号 03-3562-7525

第2四半期(累計)業績予想と実績との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 27 年 10 月 13 日に公表した平成 28 年 8 月期第 2 四半期累計期間(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。
 また、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 8 月期通期(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異について

平成 28 年 8 月期第 2 四半期(累計)業績予想と実績との差異(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,618	百万円 336	百万円 316	百万円 155	円 銭 61.36
実績値 (B)	9,170	236	219	85	33.80
増減額 (B-A)	△ 448	△ 100	△ 97	△ 70	—
増減率 (%)	△ 4.7	△ 29.8	△ 30.7	△ 45.2	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 8 月期第 2 四半期)	9,031	251	231	113	44.80

2. 通期業績予想の修正について

平成 28 年 8 月期通期業績予想数値の修正(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,037	百万円 436	百万円 394	百万円 183	円 銭 72.27
今回発表予想 (B)	17,200	250	218	60	23.69
増減額 (B-A)	△ 837	△ 186	△ 176	△ 123	—
増減率 (%)	△ 4.6	△ 42.7	△ 44.7	△ 67.2	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 8 月期)	16,973	210	171	53	21.18

3. 差異及び業績予想の修正

(1) 第2四半期（累計）業績予想と実績との差異

売上高については、個人消費の回復が十分に実感されないなかで、値ごろ感のある価格帯の商品や販売の好調なブランドの強化等の施策を実施してまいりました。しかし、前年比では回復傾向が認められるものの、不透明な経済状況を反映して計画通りの成果には至らず、当初予想を下回りました。さらに、店舗の閉店及び改装等積極的な既存店対策を実行したこと（※）、並びに韓国子会社のD-CUBE店の閉店を決定し、事業計画通りの改善が困難と判断し投資損失引当金繰入額を追加計上したことにより、特別損失が増加し、当期純利益の減少が大きくなりました。

（※）閉店は、1店舗の計画に対して3店舗（富津店、桶川店及び鷺宮店）を実施または決定しました。改装は、当第2四半期累計期間に重点的に実施し、区画移転を伴う改装を2店舗（和歌山店及びつくば店）、その他の通常改装を7店舗（千葉ニュータウン店、盛岡店、筑紫野店、和泉店、茨木店、東松山店及びむさし村山店）実施しました。

(2) 通期業績予想の修正

第3四半期以降においては、第2四半期累計期間にみられた高額商品を中心に需要が計画を下回る状況が当面続くものと予想されるほか、新規出店数が当初計画2店舗に対し1店舗にとどまる計画であります。したがって、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を下方修正いたします。

なお、これまでの不振店対策、既存店対策等が収支改善に結びつき、前期比では売上高のみならず利益面でも実績を上回ると予想しております。

（注）業績予想につきましては、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、これら予想数値とは異なる可能性があります。

以 上